

3. 委員会報告～各種の計画等が策定されます。

計画名	策定の目的等
刈谷市公共施設等総合管理計画(改訂版)	公共施設の長期的な維持管理手法の最適化をはかる。
刈谷市DX推進計画	市民サービスのDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進する全体計画を策定する。
第11次刈谷市交通安全計画	交通事故のない社会を目指し、事故防止の諸施策を講じる。
すぎな作業所の基本設計	すぎな作業所を移転新築し、定員増等の機能強化をはかる。
魅力あふれる公園づくり構想	2023年3月の構想策定に向け、ワークショップ等を開催する。
刈谷市水道事業ビジョン 刈谷市水道事業経営戦略	持続可能な水道事業経営のビジョンと戦略を策定する。
第3次刈谷市男女共同参画プラン	性別に関わらず誰もが輝けるまちづくりプランを策定する。

ポストコロナを見据えた様々な計画が策定されます。



4) 障がいをお持ちの方と連携しています。

当レポートを皆様にお届けしている青色の封筒は、知的障がい等をお持ちの方が昭和30年代製の活版印刷機を使い、1枚づつ、手で印刷してくれています。印刷部位が多少ずれたりかすれたりしますが、それも手作りの味わいのご理解頂ければ幸いです。関心のある方はさはら後援会事務所までお問合せ下さい。



5) 我々の仲間をみんなで応援しましょう！

参議院議員 **はまぐち誠** さんの紹介

はまぐち誠チャンネル是非ご視聴ください！



メッセージ



「2022年新しい年が始まりました。2016年7月の初当選以来、ご支援いただいている全ての皆さんに心からお礼を申し上げます。国会議員として5年半仕事をさせていただき、常に現場で日々懸命に働く皆さんの声やご意見が、私の活動の原動力であり、ブレることなく取り組んで参りました。自動車産業と関連産業が、カーボンニュートラルや自動運転など、100年に一度の大きな変革期にある中、政路が果たす役割と責任は、これまで以上に重要になると思います。働く仲間の皆さんの声をこれからも国会に届け、雇用や生活を守り、産業の発展・成長につなげていきたいと考えます。今年7月、2回目のチャレンジとなります。皆さんとともに必ず乗り越えていきたいと思っています。最後までのご支援、宜しくお願い致します。」

活動紹介 岸田文雄 内閣総理大臣へ質問しました！

2021/12/17、20 参議院予算委員会

- ◆自動車産業のカーボンニュートラル(CN)への対応
 - ・電動車に加え、多様な選択肢(e-fuel、水素エンジン等)の必要性を訴求
 - ・内燃機関(エンジン等)の部品会社への構造転換支援や雇用確保を求める
- ◆自賠責保険料の繰戻し
 - 来年度の繰戻し増額と返済計画(ロードマップ)の明示を強く要請
- ◆高騰する燃料価格への対応
 - トリガー条項の凍結解除、二重課税(タックス・オン・タックス)の解消を要請



はまぐち誠公式サイト
こちら是非チェックしてください



刈谷市議会議員

2022年4月発行

さはら充恭 市政報告

つむお 紡ぎ織りレポート vol. 46

<http://www.m-sahara.jp> さはら充恭 検索

ごあいさつ 皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。ロシアがウクライナに侵攻しました。刈谷市議会もロシアの行動を非難し、撤退を強く求める決議を採択しました。多くの生命が失われる事態の即時終結を強く願います。質問質疑では、更なるコロナ対策、カーボンニュートラル達成に向けた取り組み、学校教育の充実等を提言し、一定の成果を得られました。世界情勢は混沌としています、今自分ができる事に全力で取り組んでまいります。変わらぬご指導ご鞭撻、ご支援を心よりお願い申し上げます。

トヨタ系会派「市民クラブ」会長
市民文教委員会委員長

刈谷市議会議員

佐原充恭



1) コロナワクチン接種関連情報につきまして。

出典: 刈谷市HP

下記刈谷市HPもしくはコールセンターにて最新情報をご確認下さい。愛知県の集団接種等については県のサイトをご参照下さい。職域接種については皆様の勤務先にお問合せ下さい。

「新型コロナワクチン接種について」

https://www.city.kariya.lg.jp/kurashi/kenkoiryo/info_kenken/1008321/index.html

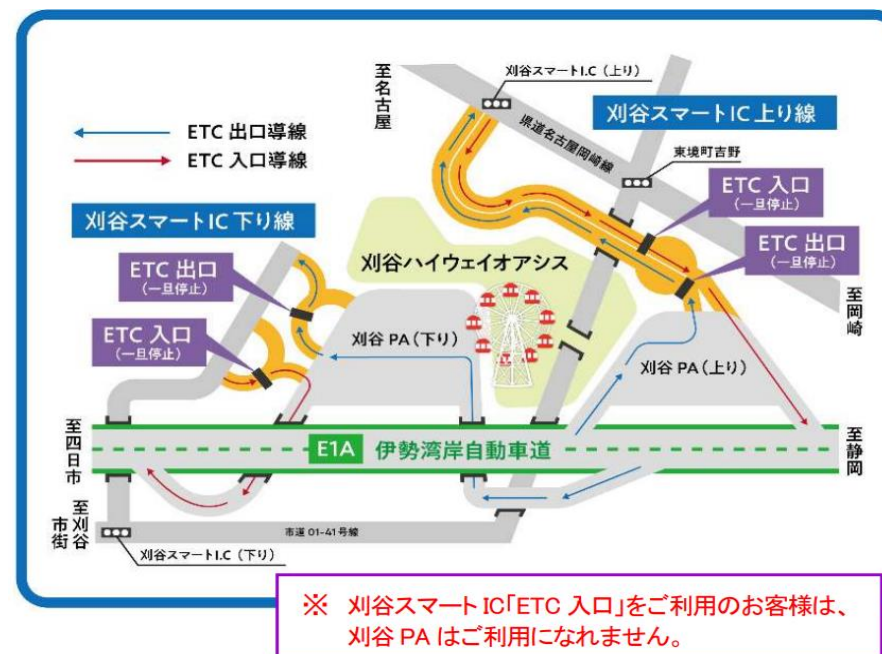
お電話でのお問合せは新型コロナワクチンコールセンター(☎0570-047-055)まで。受付時間は月～土 午前9時から午後6時です。日曜、祝日、年末年始は休止します。

愛知県新型コロナウイルス感染症対策サイト

<https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/>



2) トピックス～刈谷スマートICが開通しました。



さる3/26、E1A伊勢湾岸自動車道 豊田南ICと豊明ICの間に新たに建設された「刈谷スマートインターチェンジ(IC)」が開通しました。開通により「産業生産性の向上」「物流コストの削減」「交通渋滞の緩和」「周辺地域の活性化」などの整備効果が期待されます。



上り線の入口です。

※ 刈谷スマートIC「ETC 入口」をご利用のお客様は、刈谷PA はご利用になれません。

3) 3月定例会報告

1. 2022年度当初予算と主な事業をご紹介します。

一般会計は 620億円 で過去最大となりました。 歳入 は市民税(個人・法人)や固定資産税等の 増収 を見込みます。 歳出 には 新分野(DX、脱炭素) の事業を盛り込み、 支所業務のデジタル化等 に取り組みます。			会計名	今年度予算(億円)	前年度	増減額	伸率
			一般会計	620.0	604.7	15.3	2.5%
			特別会計	243.7	233.9	9.8	4.2%
			企業会計	98.7	108.0	-9.3	-8.6%
			合計	962.4	946.6	15.8	1.7%

分野の凡例: 新=新規、拡=拡充、継=継続				
分野	主な事業名		事業概要	事業費(千円)
DX	新	スマートシティ推進事業	民間と協同したスマートシティ推進協議会を開催し、スマートシティ構想の策定や、実証実験の実施に取り組む。	30,550
		ICT活用推進事業	市民公開型GIS(市の地理情報の公開)の導入、富士松支所のオンライン窓口化、AI議事録作成システムの導入等を行う。	60,375
脱炭素	新	地域新電力会社出資事業	刈谷知立環境組合のごみ焼却熱を利用した新電力会社を設立するため、資本金を出資する。	5,000
		公共施設LED化事業	公共施設の屋内照明等のLED化(10年リース)を行う。	8,000
守ろう 安心安全と健康	新	基幹型地域包括支援センター整備事業	地域包括支援センターの適切かつ効率的な運営を支援し、高齢者福祉の充実を図る。	6,700
		高潮ハザードマップ作成事業	高潮ハザードマップを作成、全戸配布し、災害リスクを正しく周知することで、市民の防災意識の向上を図る。	2,508
	拡	タクシー料金助成事業	料金助成利用券の交付対象を拡大し、障がい者及び高齢者の外出支援を拡充する。	4,553
		市民館施設管理事業	市内の全23市民館にAEDを各1台設置する。	8,505
	継	市道2-485号線他道路新設改良事業	銀座4丁目交差点から城町図書館前付近に至る市道の拡幅、歩道整備、電線類地中化を行う。	127,700
		新型コロナウイルスワクチン接種事業	新型コロナウイルスワクチンの接種を安全かつ円滑に実施する。	930,561
		げんきプラザ整備事業	北部生涯学習センターに、げんきプラザのサテライト施設を開設する。	52,394
		新	おくやみ窓口開設事業	故人に関する手続きをワンストップで案内することで、来庁者の負担軽減とサービス向上を図る。
育てよう 子どもと未来	新	小中学校トイレ等改修事業	老朽化した体育館のトイレの改修と、避難所となる体育館の出入り口のバリアフリー化を行う。	71,000
		拡	放課後児童クラブ運営事業	一部クラブで祝日開設を開始するとともに、配慮を要する児童の支援員を増員する。
	拡	ひとり親家庭等自立支援事業	ひとり親家庭における養育費の取り決め内容に公正証書等の作成を促進し、継続して養育費を確保する。	400
		多胎家庭等支援事業	多胎家庭の希望者へのサポーター派遣支援の対象の拡充や、妊婦健康診査受診の費用助成を増額する。	482
		心の教室相談員事業	全15小学校に心の教室相談員として大学生を配置し、児童の相談対応にあたる	3,400
		継	第8次刈谷市総合計画策定事業	コロナ禍や社会情勢、市民ニーズをもとにまちづくりの新たな指針を策定する。
	小中学校体育館空調等整備事業		小学校の体育館に空調を整備し、中学校体育館の空調整備の実施設計を行う。	1,137,938
	ウイングアリーナ刈谷等施設改修事業		2026年のアジア大会に向け、ウイングアリーナ刈谷のLED照明化やウェーブスタジアム刈谷のバリアフリー化等を行う。	20,044
輝こう 暮らしと仕事	拡	農業人材力強化総合支援事業	農業経営開始資金の交付等を行い、新規就農者の確保、定着、経営発展を図る。	9,000
		継	産業立地促進補助事業	市内企業の流出防止、市外企業の誘致等を図る。
	企業立地推進事業		依佐美地区の工業用地の2期開発区域約27haの事業実施に向けた設計及び企業誘致を行う。	22,716
	ウイングデッキ整備事業		桜町交差点に県が建設する横断歩道橋への負担金を拠出するとともに、歩道橋に直結するウイングデッキの詳細設計を行う。	491,520
	市道01-4号線他道路新設改良事業		今川町交差点の形状を適正化するとともに、同線の右折2車線化を行い、歩行者の安全と円滑な交通を確保する。	70,200
	公共交通再編事業		地域公共交通計画を策定するとともに、公共施設連絡バス「かりまる」の運営等につきワークショップを通じ検討する。	17,306
	第4次都市計画マスタープラン策定事業		社会情勢の変化に対応する為、市の都市計画の基本方針を定める。	2,780
	JR刈谷駅総合改善事業	JR刈谷駅のホーム等の混雑を解消し、安全性の確保及び利便性の向上を図る。	538,941	

2. 会派「市民クラブ」を代表して質問質疑をしました。

イラスト:いらすとや

◆稲垣市長と、カーボンニュートラル達成に向けた取り組みについて意見交換。

2050カーボンニュートラル(CN)達成

※モビリティを中心としたまちづくり

デジタル化(DX)

ゼロカーボンシティ

CASE、MaaS

スマートシティ

地域の魅力を向上・創造

※モビリティ:交通手段や移動手段に関するモノ・コト全般

☆さはらの提言
『CN達成の為には、自動車のまち刈谷の特性を活かした「モビリティを中心としたまちづくり」が必要。』

さはら『CN達成の取り組みは、本市の特性である「モビリティを中心としたまちづくり」を進めるとともに、市と事業者、市民が連携・役割分担をしながら一体となって推進し、削減目標を達成するとともに、地域の魅力向上につなげていく必要がある。刈谷市はCNをどう推進していくのか。稲垣市長の見解をお伺いしたい。(抜粋)』

稲垣市長『施政方針で「ゼロカーボンシティ」として2050年までにCN達成を目指すことを述べさせて頂いた。議員のおっしゃるとおり、モビリティを中心としたまちづくりを進める中で、CASE／MaaSなどの最新技術を取り入れながらCNを目指していくことは重要と考えている。市民や事業者の皆様と手を携えながら、脱炭素化に向けた取組を進め、市民が魅力を感じ、快適に暮らせる持続可能なまちづくりを進めていきたい。(抜粋)』

方向性一致

◆金原教育長と、特別支援教育の充実について意見交換。

さはら『刈谷特別支援学校が肢体不自由、知的、情緒などあらゆる障がい種別に対する教育相談・支援を行うセンター的機能を果たし、市内の特別支援教育を支えて頂いている事に感謝申し上げます。特別支援教育の現状と今後について、教育長の考えをお伺いしたい。(抜粋)』

支援の更なる拡充を確認

金原教育長『刈谷特別支援学校の専門性が小中学校に広がりつつある。今年度は教育委員会に特別支援教育指導員を配置し、市内の幼稚園・保育園、小中学校を訪問しながら、障害のある子どもたちへの対応や、適切な教育課程の編成等の指導助言をしている。今後も、小中学校と特別支援学校との連携を深め、本市の特別支援教育が更に充実するよう努めていく。(抜粋)』

☆質疑を通じて確認～さはらの要望が実現に向けて動き出しました。

今年度予算化		導入に向け検討開始
ウイングアリーナ刈谷 メインアリーナ照明のLED化 	保育現場の負荷低減 (シルバー人材による業務支援) 	保育業務のICT化 (園児の午睡見守り、登園管理) 
運動や観戦がしやすくなり、省電力・長寿命化効果がCNIにも貢献します。	園内清掃や除草作業支援、非接触・非対面機能の導入により、園児と保護者、保育士の皆さんをコロナ禍から守ります。	

建設的な議論を通じ、市とベクトルを合わせながら真に必要な施策を形にしていきたいと思います。

